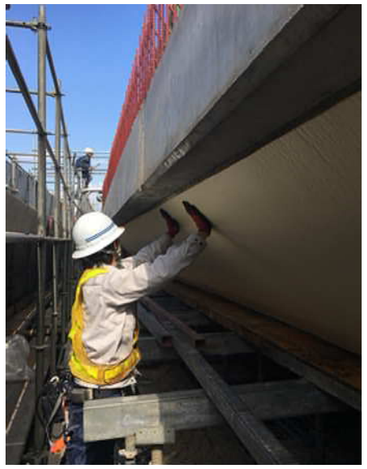
施工状況



取扱い注意事項

・製品の粘着面を直接、コンクリート表面に貼り付けてください。
・出荷時には粘着面保護のため、剥離紙が付いております。使用前に剥がしてご使用ください。
・天部・側面部にも貼り付け可能ですが、万が一落下の恐れもあるため、事前確認を行ってください。
・なるべく脱枠直後に貼り付けてください。
・貼り付け期間は、最長３ヶ月以内を目処としてください。
・表面状態によっては、張り付きにくい箇所もございます。

※　保水パックパネルは使用方法が適切でないと、その特長を十分に活かせませんので、ご使用の際は適切にご使用頂きますようお願い申し上げます。
※　カタログの内容は予告無く変更する場合があります。
※　記載データは当社による試験に基づいたものです。

《販売元》

fujimori

フジモリ産業株式会社

http://www.fujimori.co.jp

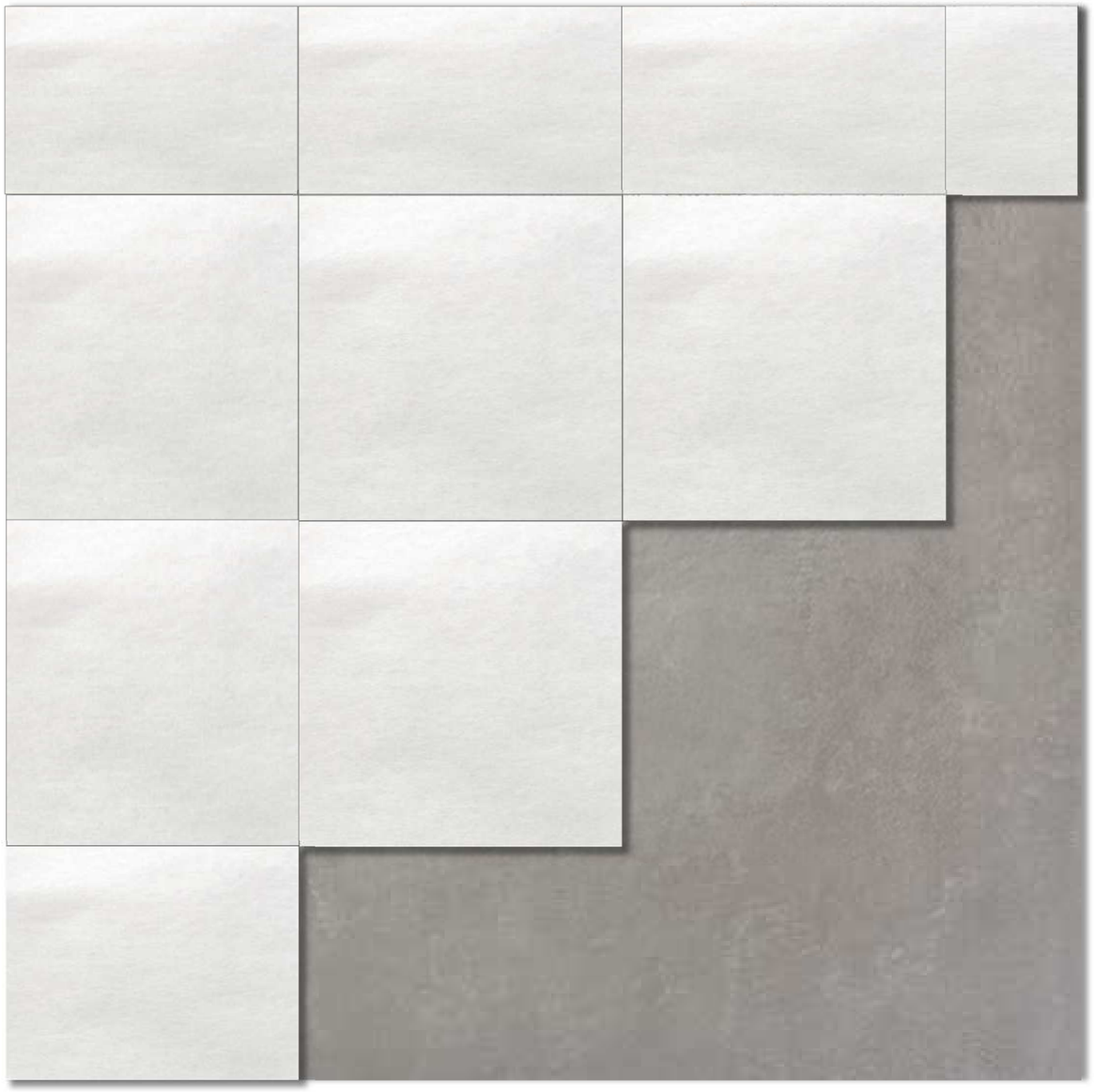
東京	〒160-0023	東京都新宿区西新宿 1-23-7（新宿ﾌｧｰｽﾄｳｴｽﾄ 10F）	TEL:03-5339-8531	FAX:03-5908-0281
大阪	〒541-0045	大阪市中央区道修町 4-4-10（KDX 小林道修町ﾋﾞﾙ）	TEL:06-6228-3864	FAX:06-6228-3886
東北	〒980-0014	仙台市青葉区本町 1-11-1（HF 仙台本町ﾋﾞﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ 7F）	TEL:022-263-1591	FAX:022-223-0067
九州	〒812-0027	福岡市博多区下川端町 10-5（博多麹屋番ﾋﾞﾙ）	TEL:092-262-8515	FAX:092-262-6750

fujimori

NETIS 番号：KT-200018-A
特許申請中

保水パックパネル

コンクリート保水・保温養生パネル



フジモリ産業株式会社

ver.5　2021.2

保水パックパネル

「保水パックパネル」は、コンクリート施工における保水養生と保温養生を同時に行い、
高品質の コンクリート構造物を構築することを目的とした 2 層構造パネルです。
保水と保温を同時に実施することで、従来 2 つに分かれていた工程を 1 回に短縮することが可能です。
製品は構造物にそのまま接着できるため構造物の鉛直面の施工に有効です。

製品の特長

● 高い保温・保湿性能

●保温層には、特殊ポレオレフィン保温層を用いており、高い保温性能が期待できます。

●コンクリート表面からの水分蒸発を抑制することができます。

● 品質向上

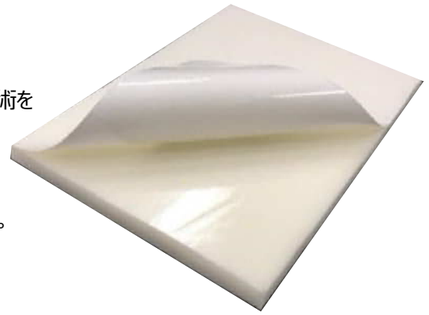
●緻密性が向上する事で、中性化の進行抑制等、耐久性が向上します。

●適切な養生が可能となり、強度の向上が図れます。

● 施工性抜群

●粘着層に保水機能があり、製品は水を含みません。約 0.5kg/m2 と軽量です。

●粘着面は、スリーエム・ジャパン(株)：「3MTM コンクリート保水養生テープ」の技術を用い、躯体に貼り付けることができ、糊残りすることなく剥がすことができます。



● 養生の省力化・無人化

●製品は、保水層と保温層が一体であり、敷設は両面各 1 回、計 2 回となります。

●給水工程・散水工程が不要なため、養生の無人化を実現できます。

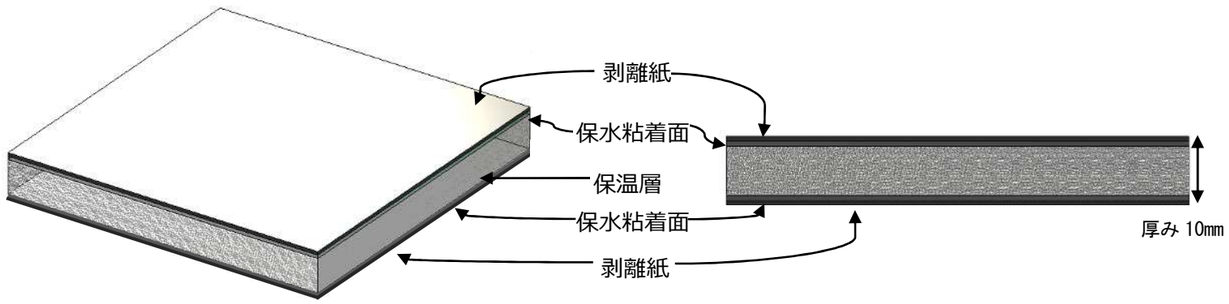
● 環境にやさしい

●アルカリ性排水、ヒーター等を用いての給熱養生の低減が図れます。

●工程削減、CO2 削減、省エネルギーが実現できます。

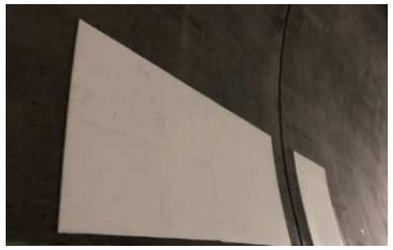
製品の構成

●イメージ図　　●断面図



●製品形状

厚さ	10mm
製品サイズ	1000mm 幅×1m
質量	約 0.5kg
製品形状	板状
納入ﾛｯﾄ	10 枚/組　（10 ㎡）
転用回数	2 回（片面 1 回×2）



熱伝達率(計算値)

養　生　方　法	(W/㎡・℃)
メタルフォーム	14
散水（湛水深さ　10mm未満）	
気泡緩衝材	8.7
湛水（湛水深さ　10mm以上50mm未満・むしろ養生含む）	8
湛水（湛水深さ　50mm以上100mm未満）	8
合板	8
シート	6
保水パックパネル	2.8
発泡スチロール　（厚さ50mm）+シート	2

■熱伝達率（理論値）

熱伝達率の求め方は、土木学会標準示方書に準拠し算出するものとする。

$$\eta = \frac{1}{\frac{1}{\beta} + \sum \frac{d_{Fi}}{\lambda_{Fi}}}$$

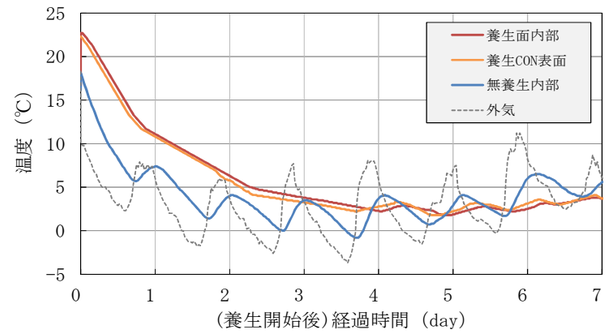
η ：　修正熱伝達率　（W/m²℃）

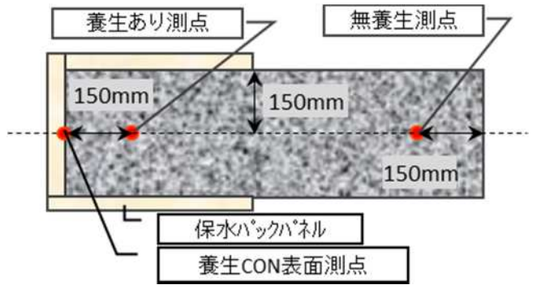
β ：　外気にふれる面の熱伝達率　（W/m²℃）
（一般に12～14W/m²℃してよい）

d_{Fi} ：　養生材の厚さ　（m）

λ_{Fi} ：　養生材の熱伝導率　（W/m℃）

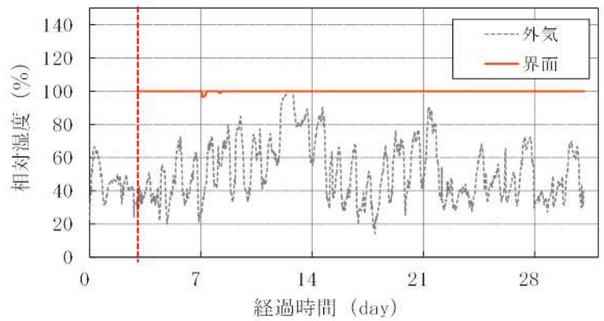
敷設データ(温度)

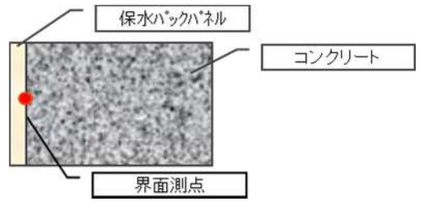




●養生をしたコンクリート表面と養生面内部の温度は同程度を示しており外気温の影響を受けていません。対して無養生時の温度は、外気温に影響され寒暖差による温度のばらつきが発生しています。

敷設データ(湿度)

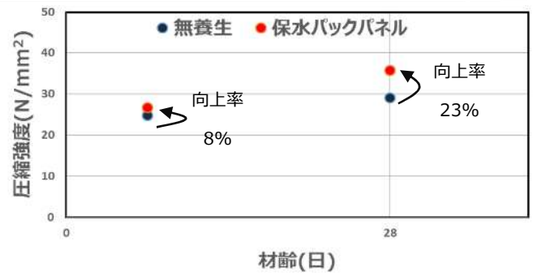




●水分蒸発を抑制することで保水状態を維持できます。

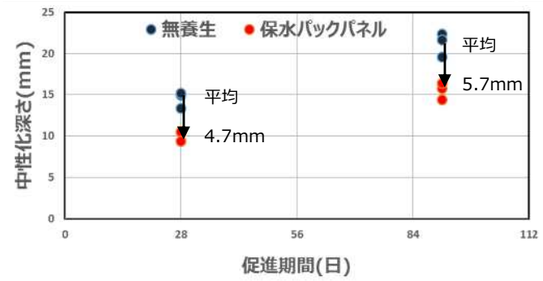
測定開始から材齢 31 日まで相対湿度平均 100%を維持します。

圧縮強度試験



●養生の適正化によって、強度増加による品質向上効果があります。

中性化促進試験



●コンクリートの緻密性が高くなることで中性化抵抗性が向上します。

コンクリート本来の材料特性を引き出すことができます。